

特別の教科 道徳（道徳科） の学習指導案の様式（例）

◇特別の教科 道徳（道徳科）の学習指導案の内容

参考：学習指導要領解説 特別の教科 道徳編

1. 主題名

- ・原則として年間指導計画における主題名を記述する。
- ・授業参加者が、主題名を見て、授業の内容を把握できるものにする。
- ・資料名だけでおおよその授業内容が把握できるような場合は、教材名をそのまま主題名としてもよい。

2. ねらいと教材

<ねらいについて>

- ・ねらいの文末表現は、その時間の指導の重点が道徳的心情の側面にあるのか、道徳的判断力の側面にあるのか、あるいは道徳的態度の側面にあるのか意図を明確に示すこと。
- ・各校が作成している年間指導計画を踏まえてねらいを記述する。

<教材名及び出典について>

- ・一般図書や新聞記事を、中心教材とする場合にも、出版元を明記する。
- ・映像資料を中心教材とする場合にも、制作元を含めて出典を明記する。
- ・各校が作成している年間指導計画を踏まえて教材名を記述する。
- ・参観者が、事後に改めて資料を調べたり、授業分析を行ったり、自分自身の授業に生かしたりする場合に役立つ。

3. 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

- ・ねらいや指導内容についての教師の捉え方を記述する。
- ・授業者が、1時間の授業で指導する「道徳的価値」を理解して、自分なりの考え方をもつことが大切である。しかし、教師の独善的なものであってはいけない。指導する内容は学習指導要領解説によることが大前提である。
- ・当該学年の内容についての理解を深めると同時に、他の学年段階の内容も視野に入れ、ねらいとする内容項目の全体の構成や発展性を考慮するとよい。

(2) 児童生徒の実態について

- ・ねらいに関連する児童生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願いなどを記述すること。
- ・ねらいとする内容項目に関わって、これまでどのような指導を行ってきたか、また児童生徒がどのような体験や経験をしているのか確認する。また、その結果として、どのような成果や課題があるのか明らかにする。
- ・ねらいとする内容項目に関わって、児童生徒を見たとき、どのような状態なのか示す。アンケートや意識調査などのデータから解釈することも考えられる。

- ・ねらいとする内容項目に関わって、これまでの指導や体験等の結果として浮かびあがる児童生徒の成果や課題から、補充・深化・統合の方向性を決めていくことが大切である。
 - ⇒これまでの指導等を振り返り、指導の機会や生徒の経験が少ない場合には、本時でしっかり補う必要がある。つまり、補充という目的になる。
 - ⇒これまでの指導等を振り返り、より一層深く考えさせたり、感じさせたりする必要があると判断すれば、それは、深化という目的になる。
 - ⇒様々な機会学んだことを、合わせて考えさせたり、それらの関連に気付かせたりして、新たな感じ方や考え方を生み出すことを目的とすれば、それは統合といえる。

※学級の問題点や表面的な傾向や指導者が感じている印象を書くのではない。あくまでも授業のねらいに基づいて、実態をとらえる。

(3) 教材について

- ・使用する教材のあらすじや特質、それを生かす具体的な活用方法などを記述する。

4. 学習指導過程

- 一般的には、導入、展開、終末の各段階に区分し、児童（生徒）の学習活動、主な発問と予想される児童（生徒）の発言、指導上の留意点、指導の方法などを指導の流れに即して記述することが多い。
- 児童（生徒）が道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めることができるようにするための教師の指導と児童（生徒）の学習の手順を示す。

※本時の展開または本時案は、様々な形式が考えられる。特にこれでなければいけないというものはない。

5. その他

例えば、他の教育活動などとの関連、評価の観点、教材分析、板書計画など、授業が円滑に進められるよう必要な事柄を記述する。

- 1 主題名 例1 「友だちとの助け合い」
例2 「気持ちのよい社会生活を」
例3 「自然に学ぶ」 等

2 ねらいと教材

(例1)

生命を支えていくことの難しさについて、チャンプを看病する三浦さんの気持ちを考え、生命あるものを大切にしようとする心情を育てる。

＜教材名「ありがとうチャンプ」生命の尊さ 「3年生の道徳」文溪堂＞

(例2)

ピエロの憎しみが消えていったわけを考えさせることを通して、自分を振り返ることの大切さに気づかせ、自分と異なる意見や立場を大切にしようとする態度を育てる。

＜教材名「ブランコ乗りとピエロ」相互理解、寛容 「私たちの道徳」5・6年＞

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

(例)

ここでは、主として、人間の生命の尊さについて考えを深めることになるが、生きているものすべての生命の尊さにも価値を置きながら考えなければならない。生命の尊さについては、多面的な視点から考えを深めていくことが重要である。例えば、生命は様々な人に支えられていること、生命には連続性があること、生命は一つであり、かけがえのないものであること、生命にはやがて死が訪れることなどである。

3年生の児童は、現実性をもって死を理解できるようになると言われる。特にこの時期には生命の尊さを感じ得るよう指導する必要がある。例えば、誕生の話から生を受けたことのすばらしさを感じたり、病気やけがの様子から自分の生命の尊さを知ったりして、同様に生命あるものすべてを大切にしようとする心を育てることができる。

また、各教科等の学習内容には、生命尊重に関する事柄が、直接、間接に含まれている。それらの学習と道徳の授業とが関連し合えば教育効果も一層高まっていく。

(学習指導要領解説を参考に「例文」作成。)

(2) 児童(生徒)の実態について

(例)

3年生の児童たちは、命には限りがあると分かっているが、実際に身近な人が亡くなった経験が少なく、自分の問題としてとらえることが難しい。また、命を大切にすることや命を守ることがどういうことなのか気付いていない場合も多い。

3年生の児童は総合的な学習の時間において、ヒマワリを育ててきた。ヒマワリの成長とともに愛着も大きくなっていった。問題になったのが、5mをめざすか間引きをするかである。児童たちは、間引きをせずに5mをめざす方法を調べたり、他の人に聞いたりして解決を図る

うとした。児童にとって、ヒマワリの命を身近に感じたり、自分とのかかわりで考えたりするよい機会になった。

また、児童は、フリージアが球根になるまで、ヒマワリと一緒に育てていた。始めの頃はお世話をしていたが、ヒマワリが成長すると、球根への意識も薄れ、お世話をすることができなくなった。しかし、児童の意識から遠のいていた球根は、立派に育っていた。多くの児童が、植物の強さや土の中で生きていたこと等を日記に書いていた。植物の命を感じたと思われる。それ以外に、家族参観日に行った道徳の授業では、家族から愛されて生まれてきたことや名前には家族の願いが込められていることも学習してきた。

本時では、このような体験や学習を生かしながら、その時の感情を想起させ、生命のすごさや精一杯生きることのすばらしさをより深く感じさせたい。（深化）

（3）教材について

（例）

2歳の雄犬チャンプは、道路にとびだし車にひかれてしまった。飼い主の三浦さんは病院で安楽死を勧められるが、チャンプと生きていくことを選んだ。そして、寝たきりのチャンプのために苦労を重ね、車いすを作った。ある日のこと、チャンプと兄弟同様であるキャバが道路に走り出した。その時、声を出すことができなくなっていたチャンプが力強く吠えた。その声でキャバは無事に戻ってきた。

話の最後には、三浦さんが2匹の犬を抱きしめ涙を流す場面がある。三浦さんが涙を流したのは、チャンプの「力強い声」に生きる力を感じ、一緒に生きてきたことをよかったと感じたからであろう。この時の三浦さんの気持ちを中心に考えさせれば、これまでの学習や自己の生き方における見方・感じ方の違いが表れ、ともに学び合える授業になると考える。そして、三浦さんの涙から、精一杯生きることのすばらしさを感じさせることができるであろう。また、三浦さんやチャンプの懸命な生き方からも、「命を大切にすることはどういうことか」を考えさせることもできる。

4. 学習指導過程

※次ページに、例1～例3まで示している。どれが一番よいということはない。
また、他にも流れ図のタイプや板書を意識したタイプもある。

※それぞれの学校や部会などで、自分たちの研究内容を示しやすい様式を選んで使用すればよい。

例 1

	学習活動（主な発問と予想される児童の反応）	留意点（●） 指導の工夫（◆） 評 価（★）
導 入 （5分）	1 「命あるもの」に心を動かした経験を出し合う。 ○「命ってすごい」と感じたことがあるか ・ヒマワリが成長しているのを見たとき。 ・フリージアの球根が知らないうちに育っていたのを知ったとき。 ・赤ちゃんが生まれたとき。	●ねらいとする価値への方向付けを行う。 ◆子どもの日記や体験活動の写真などを用意しておく。 ◆期待する発言が出ない場合は「いのち」に関するアンケートの結果を紹介し、話題にしていく。
展 開 前 段 （34分）	2 「ありがとうチャンプ」を読んで話し合う。 ○安楽死をすすめられて、すぐに返事ができなかった三浦さんは何を考えていたか。 ・チャンプを死なすことはできない。 ・一緒にいたい、できるだろうか。 ◎三浦さんはどんな気持ちでチャンプのお世話をしていたと思うか。 ・できることは何でもしてあげたい。 ・お世話をされて、チャンプは喜んでいるのだろうか。 ・やっぱり、安楽死の方がよかったのか。 ・お世話は苦しいけど、チャンプはもっと苦しいはずだ。 ○2匹を抱きしめて涙を流している時の三浦さんは、どんな気持ちか。 ・チャンプに生きる力がでてきたんだ。 ・一緒にがんばってきて本当によかった。	◆教材範読後、あらすじを簡単にまとめた「構造図」を黒板に貼る。 ●「安楽死」の意味を説明してから発問する。 ●寝たきりのチャンプの世話は簡単ではないことや、チャンプの苦しみは同時に三浦さんの苦しみでもあることに気づかせる。 ★三浦さんの苦しみやつらさに共感している。 ●「○の発問」は、時間をかけないよう留意する。
展 開 後 段 （5分）	3 三浦さんやチャンプの生き方から、これから自分が大切にしていきたいことを「私たちの道徳」91ページに書く。 ・家で飼っている犬の気持ちを考えてお世話していきたい。 ・ぼくも、チャンプみたいにどんなことにも負けずにがんばって生きていきたい。	●三浦さんやチャンプの生き方から大切だと感じたことを「私たちの道徳」に書かせ、自己の生き方に生かしていこうという思いや願いを持たせる。 ★生命尊重に関わり、これからの自分の生き方への思いや願いを持つことができている。
終 末 （1分）	4 教師の説話を聞く。	●「私たちの道徳」94ページの詩を読んで聞かせ、生命尊重にかかわる思いや願いをふくらませる。

例 2

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点
導入	1 「命あるもの」に心を動かした経験を出し合う。 (5分)	「命ってすごい」と感じたことがあるか <ul style="list-style-type: none"> ・ヒマワリが成長しているのを見たとき。 ・フリージアの球根が知らないうちに育っていたのを見たとき。 ・赤ちゃんが生まれたとき。 	○ねらいとする価値への方向付けを行う。 ○子どもの日記や体験活動の写真などを用意しておく。 ○期待する発言が出ない場合は「いのち」に関するアンケートの結果を紹介し、話題にしていく。
展開	2 「ありがとうチャンプ」を読んで話し合う。 (34分)	○安楽死をすすめられて、すぐに返事ができなかった三浦さんは何を考えていたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・チャンプを死なすことはできない。 ・一緒にいたい、できるだろうか。 ○三浦さんはどんな気持ちでチャンプのお世話をしていたと思うか。 <ul style="list-style-type: none"> ・できることは何でもしてあげたい。 ・お世話をされて、チャンプは喜んでいるのだろうか。 ・安楽死の方よかったのかな。 ・お世話は苦しいけど、チャンプはもっと苦しいはずだ。 ○2匹を抱きしめて涙を流している時の三浦さんは、どんな気持ちか。 <ul style="list-style-type: none"> ・チャンプに生きる力がでてきたんだ。 ・一緒にがんばってきて本当によかった。 	○教材範読後、あらすじを簡単にまとめた「構造図」を黒板に貼る。 ○「安楽死」の意味を説明してから発問する。 ○寝たきりのチャンプの世話は簡単ではないことや、チャンプの苦しみは同時に三浦さんの苦しみでもあることに気付かせる。 ※評価 三浦さんの苦しみやつらさに共感している。 (発言やノートから)
開	3 これから自分が大切にしていきたいことを「私たちの道徳」91ページに書く。 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・家で飼っている犬の気持ちを考えてお世話していきたい。 ・ぼくも、チャンプみたいにどんなことにも負けずにがんばって生きていきたい。 	○本時の学習で大切だと感じたことを「私たちの道徳」に書かせ、自己の生き方に生かしていこうという思いや願いを持たせる。 ※評価 生命尊重に関わり、これからの自分の生き方への思いや願いを持つことができている。 (「私たちの道徳」の書き込みから)
終末	4 教師の説話を聞く。 (1分)		○「私たちの道徳」94ページの詩を読んで聞かせ、生命尊重にかかわる思いや願いをふくらませる。

例 3

学習活動	子どもの考えを深める教師の手立て	評価及び備考
<p>1 「命あるもの」に心を動かした経験を出し合う。 (5分)</p> <p>2 「ありがとうチャンプ」を読んで話し合う。 (34分)</p>	<p>○ねらいとする価値への方向付けを行う。</p> <p>○子どもの日記や体験活動の写真などを用意しておく。</p> <p>「命ってすごい」と感じたことがあるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒマワリが成長しているのを見たとき。 ・フリージアの球根が知らないうちに育っていたのを見たとき。 <p>○期待する発言が出ない場合は「いのち」に関するアンケートの結果を紹介し、話題にしていく。</p> <p>○教材範読後、あらすじをまとめた構造図を黒板に貼る。</p> <p>○「安楽死」の意味を説明してから発問する。</p> <p>安楽死をすすめられて、すぐに返事ができなかった三浦さんは何を考えていたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンプを死なすことはできない。 ・一緒にいたい、できるだろうか。 <p>三浦さんはどんな気持ちでチャンプのお世話をしていたと思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できることは何でもしてあげたい。 ・お世話をされて、チャンプは喜んでいるのだろうか。 ・安楽死の方よかったのかな。 ・お世話は苦しいけど、チャンプはもっと苦しいはずだ。 <p>○寝たきりのチャンプの世話は簡単ではないことや、チャンプの苦しみは三浦さんの苦しみでもあることに気付かせる。</p> <p>2匹を抱きしめて涙を流している時の三浦さんは、どんな気持ちか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンプに生きる力がでてきたんだ。 ・一緒にがんばってきて本当によかった。 	<p>※評価 三浦さんの苦しみやつらさに共感している。 (発言やノートから)</p>
<p>3 これから自分が大切にしていきたいことを「私たちの道徳」91ページに書く。 (5分)</p> <p>4 教師の説話を聞く。 (1分)</p>	<p>○本時の学習で大切だと感じたことを「私たちの道徳」に書かせ、自己の生き方に生かしていこうという思いや願いを持たせる。</p> <p>○「私たちの道徳」94ページの詩を読んで聞かせ、生命尊重にかかわる思いや願いをふくらませる。</p>	<p>※評価 生命尊重に関わり、これからの自分の生き方への思いや願いを持つことができている。 (「私たちの道徳」の書き込みから)</p>